

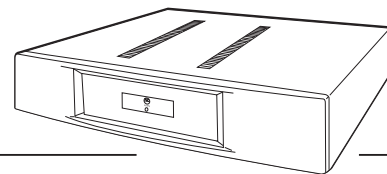


LINN

MAJIK 2100

パワーアンプ

MAJIKパワーアンプシリーズ (3100, 4100, 5100, 6100) 参照資料



オーナーズマニュアル

日本語

安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるので注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があり。一開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。



製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面をご参照下さい。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、ブルサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがないようにください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ（アンプを含む）などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたりしたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。

15. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. **電源プラグ**：本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ (該当する場合) を使用してください。
18. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. **屋外アンテナの接地**：本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70 の 810 項を参照してください。
20. **電話線**：本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
22. **火のついたろうそくなどの裸火**が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2006 Linn Products Ltd.

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ,
Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送することはできません。

Linn (リン) および **Linn のロゴ** は、Linn Products Limited の登録商標です。**MAJIK**、**AKTIV**、**KONTROL** および **CHAKRA** は Linn Products Limited の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。

リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

目次

はじめに	1
特徴	1
設置	2
開梱	2
設置	2
接続	3
背面パネル	3
オーディオ接続	4
スピーカー端子	4
操作	5
基本操作	5
信号検知	5
保護機能	5
技術データ	6
保証とサービス	7

はじめに

MAJIK 2100 パワーアンプ

MAJIK 2100 パワーアンプは、最高水準のオーディオ製品を製作するため、Linn が30年以上にわたり行なってきた革新的な設計と技術の進歩を巧みに取り入れた新製品です。パワーアンプの役割は、プリアンプから出力される小信号を受け取り、スピーカーを振動させるレベルまでその信号を増幅することです。この類まれなアンプを完成させるために余すところなく配慮が注がれ、音楽信号は増幅の間も純粹で色づけされないことが約束されます。Linn はこのプロセスの重要性を理解し、その技術改善に長い年月を費やしてきました。その成果を証明するのが MAJIK 2100 です。

MAJIK 2100 パワーアンプは、MAJIK CD プレーヤーおよび MAJIK KONTROL プリアンプと完璧なコンビネーションを構成するのはもちろん、トータルシステムではなく既存の機器との組み合わせにおいても音楽コレクションの再発見をもたらしてくれるでしょう。

サウンドパフォーマンスをお楽しみください。

特徴

CHAKRA アンプ技術

CHAKRA は、モノリシック (シングルチップ) 増幅用 IC (集積回路) の周囲に複数の大型バイポーラトランジスタを「ブースター」として配列した回路レイアウトを採用しています。モノリシックからバイポーラへの切り替えこそリン独自の技術であり、この回路方式に関する特許を取得しています。出力電流が数ミリアンペアより低い場合、すべての出力はモノリシック IC によって駆動され、この素子の持つ高速度と直線性が最大限に引き出されます。大出力時は、出力電流のほとんどをバイポーラトランジスタが駆動し、モノリシックデバイスは定格範囲内に置かれて誤差を即座に補正するよう動作します。

このきわめてコンパクトな回路レイアウトによって、基板面積の小型化、信号経路の短縮化、高効率を実現し、従来の設計によるリン製パワーアンプよりも大幅に発熱量を下げることができました。

スイッチモード電源 (SMPS)

SMPS とは電力供給システムの一つで、入力電力の変換と制御を行うだけでなく、内部のオーディオ回路に対して、外的要因による変動を取り除いた高品質な電力を供給する役割を担っています。SMPS 採用コンポーネントは、大きくて重く、またノイズの発生源でもあった変圧器や、大容量コンデンサーなどの構成要素にとってかわるものとなります。従来の電力供給システムに対する SMPS の利点としては、小型サイズ、高効率性、高速レスポンス、入力変動および負荷変動に対する許容度の向上、可聴ノイズの根絶、原材料の削減による環境への配慮などが挙げられます。

また SMPS では、従来の大規模な電源回路でみられたように商用電源に歪みを還流させることがないため、従来の電源を使用したアンプを MAJIK 2100 アンプにアップグレードした場合、アンプそのものの性能向上に加え、電源が安定することによるシステム全体の音質向上もほぼ確実に期待できます。

AKTIV* オペレーション

標準の「バッシブ」クロスオーバーは、音声信号そのものによって駆動されているため、実際には信号の一部が失われてしまいます。これに対して AKTIV クロスオーバーは、SMPS で駆動されるため、ずっと多くの音声信号をスピーカーまで届けることができます。またこの方式は、標準の方式より信号を制御する能力に優れ、他の特性との相乗効果で、大幅に音響性能を向上させることができます。

リン製品の取扱店では、各スピーカー専用の AKTIV モジュールを取り付けることによって、どの MAJIK 2100 アンプでも、AKTIV アップグレードできます。

保護回路

過電流の防止機能

出力電流がアンプに設定された安全動作レベルを超過した場合、チャンネル本体および接続されたスピーカーのドライブユニット保護のため、関連するチャンネルは即座に数秒間シャットダウン状態となります。

過熱防止機能

同様に、アンプの温度が設定された安全動作レベルより高温になった場合、関連するチャンネルは動作を停止し、温度が正常なレベルに回復すると自動的に動作を再開します。

* [AKTIV] とは、リン独自のアクティブモジュールとスピーカーによる駆動方式の総称です。

設置

開梱

MAJIK 2100 アンプには、以下の付属品が同梱されています。

- 電源コード
- 接続ケーブル (黒) 2組
- 保証書
- 本マニュアル

設置

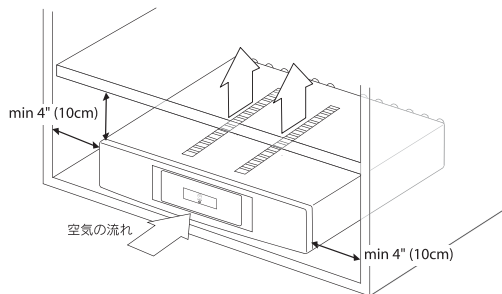
通気の必要性

MAJIK 2100 アンプは、非常に変換効率の高い設計ですが、それでもかなりの電力を熱として放散する必要があります。したがって、周辺の通気が妨げられない場所に設置してください。

推奨される設置方法：

- 機器上面および側面には、最低でも 10cm (4 インチ) 程度の空間を空けてください。
- キャビネット内部に設置する場合は、装置の前方から後方に向かって空気が流通するようにしてください。密閉型のキャビネットでは、放熱が大きく制限されます。
- アンプ上下に物を置くことによって通気を妨げないようにしてください。
- アンプの正面に接するように物を置かないでください。

MAJIK 2100 アンプを通気の悪い場所に設置したり、大音量で一定時間再生を行うと、温度が安全動作レベルを超えて上昇する可能性があります。そのような場合は、温度が十分に下がるまで、関連するチャンネルが自動的にシャットダウンされます。



他の装置に対する設置位置

MAJIK 2100 アンプは、ヒーターや他のパワーアンプなど、熱を発生する機器の真上や隣接した場所に設置しないで下さい。

複数のアンプを使用して設置スペースに制限がある場合、上下に積むよりは左右に並べる方がよいでしょう。

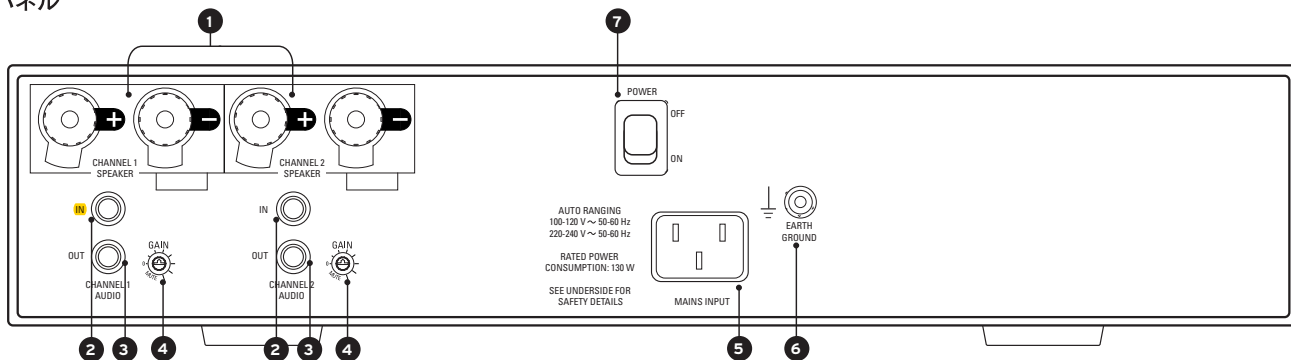
MAJIK 2100 アンプは、テレビ、コンピュータ、調理機器、冷蔵庫などの電力消費量の大きい電気製品・電子機器から離れた位置に設置する (またできれば電源も別の回路から取る) ことをお勧めします。こういった装置による強い電波や電磁波の発生や干渉によって、アンプの性能への悪影響を防ぐためです。

接続

重要

接続を行う前に、システム内の全製品の主電源を切断してください。

背面パネル



❶ SPEAKER 出力

スピーカーへの音声信号を出力します。

❷ AUDIO IN

音声信号の入力に使用します。

❸ AUDIO OUT

AUDIO IN への入力信号を中継して、他のアンプチャンネルや装置（サブウーハーなど）に出力できます。

❹ GAIN (増幅度) 調整つまみ

ゲインの増減を行います。重要事項 — AKTIV モジュールの搭載チャンネルでのみ使用できます。AKTIV モジュールが搭載されていない場合、レベルは 0 (デフォルトのゲイン設定) のままにしておいてください。AKTIV モジュールが搭載されている場合、室内の音響特性に合わせた AKTIV システムの微調整が、この調整つまみで行えます。

❺ MAINS INPUT

4 ページの電源の項を参照してください。

❻ EARTH GROUND (アース)

主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します。

❼ POWER スイッチ

アンプの電源のオンオフを切り換えます。

注記 — これはスタンバイスイッチではなく、装置の主電源を切断します。

電源

MAJIK 2100 アンプを電源につなぐときは、必ずアースしてください。

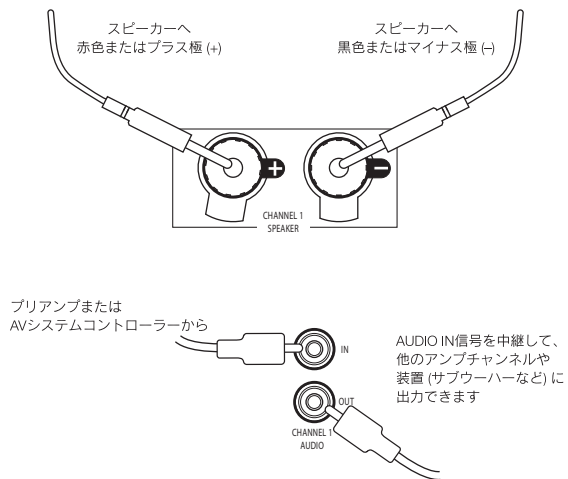
アース端子が付いた付属の専用電源コードを使用してください。アース端子の付いていない電源プラグ、ソケット、アダプターは使用しないでください。

各国の規則にしたがって、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。

MAJIK 2100 アンプは、世界すべての地域の電源に接続して使用でき、電圧を変換する必要はありません。MAJIK 2100 アンプは自動電圧選択 (AVS) 機能を備え、電源は商用電源に応じて自動的に調整されます。

オーディオ接続

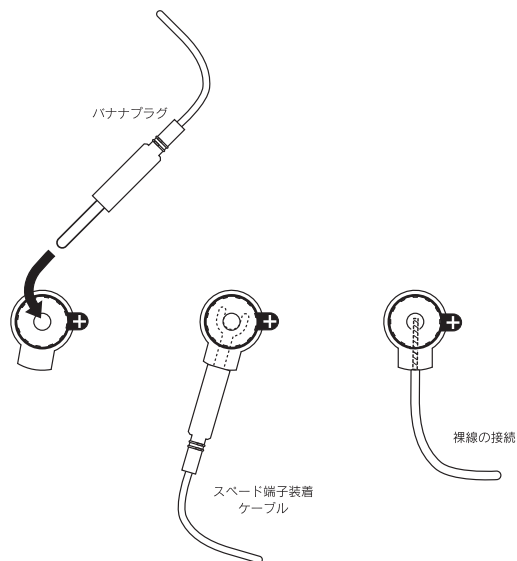
個々のチャンネルを、下記のように接続してください。



スピーカー端子

バイディングポスト端子は、4mmバナナプラグの接続用ソケットとして使用したり、裸線やスベード端子を装着したケーブルの接続に使用することもできます。こうした場合、バイディングポストの外側部分を緩めて (外側部分を取り外さないよう注意してください)、ケーブルまたは端子を挿入してから、バイディングポストを締め付けて固定します。

すべての結合ピンが固定していることを確認します。



操 作

基本操作

アンプの電源投入直後およびスタンバイモード中は、青色LEDが暗く点灯します。

信号検知

入力信号を検知すると、MAJIK 2100 アンプは実動作状態になり、青色LEDが明るく点灯します。音声信号が入力されないと、アンプはおよそ20分後に低消費電力のスタンバイモードに切り替わります。

信号検知回路は高い感度を備えており、システムに入力されたハム音やヒス音などのノイズに検知回路が反応してしまうケースがあります。そのような場合は、ノイズ源を除去してください。

保護機能

動 作

アンプのチャンネルがオーバーヒートしたり過負荷状態になった場合、当該チャンネルへの電力供給が自動的にシャットダウンされて、接続されたアンプおよびスピーカーのドライブユニットを保護します。

継続時間

保護機能を動作させる原因となった状態が終了すると、アンプは自動的に通常の動作に復帰します。チャンネルの保護状態が続く時間は、原因によって異なります。保護状態が数秒以上続く場合、原因としてオーバーヒートが考えられますが、その場合は温度が下がって復帰するまで数分かかることもあります。

保護状態が長時間続く場合 (10分以上)、継続的な過負荷状態が考えられます (アンプに接続されたコンポーネントの一つが故障している場合など)。いったんユニットの主電源をオフにして、約30分後に再始動してみてください。それでも問題が解決されない場合は、購入された販売店へお問合せの上、製品検査を行い、問題の根本原因を突き止めてください。

技術データ

タイプ	2チャンネルパワーアンプ
外形寸法	W 381 mm × D 355 mm × H 80 mm (足を含む) (約) W 15", D 14", H 3"
重量	5.2 kg / 11.4 ポンド
入力端子	RCA Phono
出力端子	4 mm バナナプラグ/バインディングポスト端子
ヒューズ定格	250 V, T10 A
主電力の範囲	100-120 Vac ; 220-240 Vac
商用電源周波数範囲	50 – 60 Hz
最大継続入力電力 スタンバイ時消費電力	300 W 10 W
ゲインAKTIV用調整値 (dB)	25.6, 26.6, 27.6, 28.6*, 29.6, 30.6, 31.6, 32.6
入カインピーダンス	7K5 Ω
入カクリッピングレベル	755 mV rms
ハーモニックディストーション	0.01% 未満
最小信号検知レベル	100 W rms into 4 Ω ; 56 W rms into 8 Ω
負荷耐性	すべてのスピーカーに対して負荷安定対応
周波数応答	1.4 Hz to 41 kHz
ピーク出力電圧	28.9 V

*デフォルト設定

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777
FAX: +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン: 0500 888909
電子メール: helpline@linn.co.uk
Web サイト: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

電話: +1 (904) 645 5242
FAX: +1 (904) 645 7275
ヘルプライン: 888-671-LINN
電子メール: helpline@linninc.com
Web サイト: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Germany

電話: +49-(0) 40-890 660-0
FAX: +49-(0) 40-890 660-29
電子メール: info@linngmbh.de
Web サイト: www.linn.co.uk

